



学校だより

令和8年度 6月号
令和8年 5月28日
さいたま市立大谷口中学校

【学校教育目標】 かしこく 美しく たくましく

今こそ仲間の存在を感じて

校長 高村 昌利

初夏の光がまぶしく感じられる季節となりました。空気からも夏を感じます。先日の体育祭では、生徒一人ひとりが力を尽くし、仲間とともに競技に取り組む姿が大変印象的でした。練習を積み重ねる中で見せた真剣な表情、互いを励まし合う声、そして本番での堂々とした姿から、生徒たちの確かな成長を感じることができました。クラスの絆が深まり、学年・学校全体としての一体感が高まったことを、改めて嬉しく思います。特に、開会式前の入場で行った集団走は、まさに圧巻でした。全校生徒が一斉に一つの集団「塊」となり、声を出し、足を揃えて、行進する姿に、大谷口中学校の一体感を感じました。体育祭前に行った朝礼では、集団走について全校生徒で考えました。「なぜ足を揃えるのか」「なぜ声を出して合わせるのか」「なぜ全校生徒で集団走をやるのか」と問いかけました。するとある生徒から「心をつなぐためです」と答えが返ってきました。勇気のある返答でした。様々な答えがあると思いますが、周りにいる仲間の存在を感じて、集団の一員であることを意識して、集中すること、周りに合わせることで、足踏みも、掛け声も、合わせることで、周りの存在を感じ、自分を全体に合わせていく。一人ひとり、個々を大切にしていくことも重要だと考えますが、中学生の今、体育祭の集団走を通して、一体感を感じたり、仲間の存在を感じたりできることこそが、まさに今の時代の教育に必要であると改めて感じました。生徒たちにとっては、中学時代の貴重な経験の一つとなったはずですが、大人になっても、仲間とともに体育祭で集団走を行ったことを誇りに思い、人生の大切な思い出にしてほしいです。

また、このような行事を通して得た経験は、これからの学校生活だけでなく、将来さまざまな場面で人と関わりながら生きていく力として、必ず生かされていくものと信じています。互いを認め合い、高め合う姿勢を、これからも大切に育んでいってほしいと考えています。

さて、体育祭を終え、いよいよ今週、そして6月からは学校総合体育大会が始まります。3年生にとっては、中学校生活の集大成となる大切な舞台です。これまで部活動で培ってきた技術や体力、そして仲間とともに積み重ねてきた時間と努力が、試合での大きな力となることでしょう。結果だけにとらわれることなく、自分のベストを尽くし、悔いのない大会となることを願っています。1・2年生にとっても、先輩の姿から多くを学び、次のステップへとつながる貴重な機会となるはずです。先輩方の雄姿をしっかりと目に焼き付けてください。大会に臨むにあたり、学校の代表としての誇りを胸に、気持ちのよい挨拶や礼儀を大切にして行動し、対戦する学校の生徒への敬意と感謝の心を忘れないでください。日頃より支えてくださっている保護者の皆様や、熱心にご指導いただいている顧問の先生方への感謝の気持ちも力に変えてほしいと願っています。そして、中学生としてふさわしい態度で臨む姿を大切にするとともに、本校のめざす生徒像である「あいさつができる生徒」の伝統を自覚し、その思いを先輩から後輩へとしっかり引き継いでいってください。

6月は、気候の変化とともに心身のリズムが乱れやすい時期でもあります。学校としては、生徒一人ひとりの様子を丁寧に見守りながら、安心して学校生活を送れるよう環境づくりを進めてまいります。体育祭で得た達成感や仲間とのつながりを、日々の学びや生活に生かし、さらに成長していけるよう、教職員一同生徒たちを支えてまいります。保護者、地域の皆さまには、日頃より本校の教育活動に温かなご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。今後とも、生徒たちが自分らしく輝き、健やかに成長していけるよう、引き続きご支援をお願い申し上げます。